

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
児童発達支援・放課後等デイサービス りあん		R8年 2月 24日				24名		22名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
		環境・体制整備	1	10	9			1	2
	2	18	1		3	・充分に子供をみてもらっている。			
	3	13	3		6				
	4	19	1		2				
適切な支援の提供	5	20	2			・子どものことを理解してくれている方と、そうでない方がいるので、その方によって対応が違うのかなと思います。	・毎日の朝礼や職員会議に加えて、その都度情報を共有して支援していけるように努めます。		
	6	19	1		2				
	7	22							
	8	18	1		3				
	9	22							
	10	17	3		2				
	11	1	1	6	14	・図書館、公園、パローなどに連れて行った際にそこにいる子どもとの触れ合いがある。			
保護者への説明等	12	21			1				
	13	21	1						
	14	4	2	5	11				
	15	20	2						
	16	19	2		1	・送迎時に様子等を教えてくれる。			
	17	21			1	・親の意見や思いを聞いてくれ、真実に子供と向き合っ対応してくれている。 ・電話などで心配して頂けると支援されていると強く思う			
18	2	1	8	11	・1時間など短い時間で兄弟父・母が参加できる日があればぜひ参加したいです。 ・家族のごとも気づかっていたので感謝しております。	・ご予定などを聞きながら調整していきたいと思っています。			

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	2		4		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	3	2	5	・子ども本人がやったことのわかる画像をプリントアウトしてもらえるのありがたい。 ・送迎時のお話、毎月の手紙（予定表）などで情報を確認しています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	1		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	3		8		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18	1		3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	3			・避難訓練はありがたい。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	5			・ちょっとした怪我でも連絡があるので、しっかり見守っているのだと思います。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20	2			・自分の我を出しすぎるくらい安心して通っている。 ・第二の我が家。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17	5			・嫌がらずに通ってくれている。 ・大好きすぎてわがままになったりしております。すみません。 ・利用する日はいつも楽しみにしています。好きなことを自分のペースでまったり過ごせているようです。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	2			・嬉しい子ですが受け入れて下さり感謝しています。 ・大満足です ・いつもありがとうございます。	

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス りあん			公表日	R8年 2月 24日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	・バリアフリー化は必要に応じて対応している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		・片付いた心地よい環境は、子どもたちにも影響が大きいと感じているので、気を付けて行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		・複数の児童が必要になった時も他の個室でも対応できるようになっている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		・朝礼時に昨日の振り返りをして改善すべきことを、職員で共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		・毎朝朝礼で話し合いをしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9			
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		・フェイスブックにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		・自発管と担当職員で作成し、後で職員の意見も聞いている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			

切 な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		・季節に合わせたプログラムを検討している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		・朝礼で申し送り確認と支援方法を話し合っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		・勤務時間が異なる事や、欠席者がいるため、翌日に朝礼をおこなうようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		・振り返りがしやすいよう、気になったことは書き留め改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		・自己選択の難しい児童の方には候補を少なくしながら、支援をしています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		・学校との情報等は保護者様より連絡をいただいています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9		・相談員さんや保護者様よりお聞きして対応している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	6	・対象者がまだいない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	1	・講習など。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	5	・地域の商店街や公園には出かけているが、一緒に活動する機会がない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	3		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		・自宅送り時には必ず気になる事などはお話してきています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3	・研修などの案内が届いた時は保護者様にお配りして知らせている。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			・計画時には面談を行いお悩み等はお聞きしています。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	8		・交流する機会を設けたいと思っているが、なかなかできていない。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			・保護者様より連絡があった時はすぐに職員で共有し、対応している。 ・当事者同士で話し合いの場を設ける等の対応をしている。
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	2		・月に1度はお手紙で確認を取っていて保護者様より連絡いただいた時はすぐに対応している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8		・今のところはできていないが、感染症の心配もなくなってきたので検討していきたい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			・月に1回の避難訓練を曜日や設定を変えて行っている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9			・入所時には必ず聞き取りをして、その都度保護者様からも連絡をいただいています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9			・入所時には確認をして、職員で共有している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9			・ハザードマップ等は施設の壁に貼って常に見えるようにしてあります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			・気がついたことは、ヒヤリハットにより再発防止に役立てています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			・月に1回、職員会議の中で行っています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9			・行なう場合は職員会議で話し合った後に保護者様にお伝えしています。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	自動発達支援・放課後等デイサービス りあん		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2026年 1月 5日		2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様に日常の状況をお伝えして、その都度話し合いをして対策や改善に取り組めるように努めています。	その日の様子を連絡ノートでお知らせしたり、送迎時に直接保護者様にお伝えてさせていただいて、情報の共有を心がけています。	保護者様とのコミュニケーションをとりやすい関係性を築いていけるように努めています。
2	保護者様に日常の状況をお伝えして、その都度話し合いをして対策や改善に取り組めるように努めています。	その日の様子を連絡ノートでお知らせしたり、送迎時に直接保護者様にお伝えてさせていただいて、情報の共有を心がけています。	保護者様や相談員、学校などの関わりのあるところとのコミュニケーションを深めていき、情報の共有をできるように努めます。
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の機会があまりないこと。	商店街への散歩やお買い物などは行っていますが、それ以上の交流の機会を作ることが難しいです。	地域の資料館の見学や、地元の産業に触れる機会を増やしていきたいです。
2	保護者様間の父母の会などといった交流の場を設けていない。	保護者様のご予定や日時の設定などの調整が困難で、ご希望に添えない可能性があること。	こまめに保護者様のお話や予定を聞きながら、調整していきたいです。
3	高等学校卒業での事業所の卒業は今年度が初めてになる為、卒業後の対応が未経験であること。	事業所として初めてのことなので、丁寧な対応を心がけます。	事業所として初めてのことで、こまめに情報を集めて、迅速丁寧な対応に努めます。